

## 「会長就任にあたって」

このたび小学校英語教育学会の会長に就任することになりました卯城（うしろ）です。よろしくお願いたします。小学校英語教育学会は現在、会員数約 500 名を有し、平成 23 年度から「外国語活動」の完全実施を迎える中で、その理論と実践への貢献に大きな役割を担っています。

本学会は、2000 年 1 月 22 日に、21 名の発起人が東京学芸大学に集い、設立となりました。私もその 1 人として、今でも熱気にあふれた討議の様子を覚えています。当時は「英語ノート」も学習指導要領もなく、まさに手探りの状態で同年 8 月 20 日に第 1 回創立大会が行われました。あれから 10 年が経ち、今年の北海道大会で 10 周年を迎えました。

私はこの間、紀要編集委員会の査読委員、編集委員、東京大会の副実行委員長などと共に、茨城県の理事、関東地区常任理事、副会長などを務めさせて頂きました。前執行部では斎藤栄二会長、久埜百合副会長と共に、公開授業を取り入れるなど全国大会のプログラムを刷新、また学会会則の改正や全国組織の見直し、課題研究の推進、そして大坪喜子前紀要編集委員会委員長と共に紀要のレベルアップに努めてきました。

新執行部は、粕谷恭子副会長、萬谷隆一副会長、佐久間康之紀要編集委員長、中村典生事務局長と、一世代も二世代も若い顔ぶれとなりましたが、時には顧問の先生方にもご助言を頂きながら、会員の方が充実感を得られるような学会にしていきたいと考えています。

本学会は、特に、小学校の教室現場におられる先生方と、大学の研究者、そして、教師や研究者を目指す大学院生・大学生が同じ立場で、理論や実践について語り合うことが出来るという大きな特色を持っています。これからも、理論が教室現場の実践から真摯に学び、また、理論に裏付けされた確かな実践を行うことが出来るよう、理論と実践の統合を目指していきたいと考えています。

どうかよろしくお願いたします。

2010 年 9 月 1 日

会長 卯城 祐司（筑波大学大学院教授）